
第 69 回数理社会学会大会 (JAMS69online) プログラム (大会前確定版)

日時：2020 年 9 月 21 日 (月) ～9 月 22 日 (火)

会場：オンライン (Zoom, Google Drive)

1 参加費：無料

2 参加登録

- ・ 以下の URL に参加登録をお願いします。参加登録の締め切りは、**2020 年 9 月 13 日 (日)** です。
- ・ 非会員の方は事前登録の上自由報告・学会賞受賞講演に参加していただけます。ただし、Zoom の参加可能人数に上限があります。人数の上限に達した場合は非会員の参加受け付けを終了します。
- ・ 会員の方も参加人数の事前把握のために、参加予定の方は事前登録をお願いします。
- ・ 報告者の方々も事前登録をお願いします。

参加登録申し込みフォーム (非会員用) : <https://forms.gle/L4dJEGM3mAP2mDrW9>

参加登録申し込みフォーム (学会員用) : <https://forms.gle/JHSVZga15c3ZaBai8>

3 参加方法

- ・ 参加登録済みの方々に対して、事前に Zoom の招待メールを登録メールアドレスにお送りします。
- ・ 会員向けには、会員メーリングリストでも Zoom ならびに萌芽的セッションの情報をお送りします。
- ・ 参加方法の詳細と当日の注意点についても招待メールと同時に送ります。

4 主なスケジュール

	時間	内容	備考
9 月 20 日	15:00～17:00	ワンステップアップ・セミナー	要事前登録
9 月 21 日	9:30～10:45	第 1 部会	
	11:00～12:15	第 2 部会	
	12:15～13:30	昼食休憩	
	13:30～14:45	第 3 部会	
	15:00～16:00	学会賞受賞講演	
	16:15～17:15	総会	会員のみ
	17:15～18:00	懇親会	会員のみ
9 月 22 日	9:30～10:45	第 4 部会	
	11:00～11:50	第 5 部会	
	11:50～13:00	昼食休憩	
	13:00～15:00	萌芽的セッション	会員のみ

- 5 口頭報告者へのお願い（自由報告）
- ・ 報告 15 分，討論 10 分です。
 - ・ Zoom セッションにて画面共有機能を用いてスライド等を提示して発表することができます。
 - ・ 当日配付資料は事前に提出いただきますと大会用 Google Drive で共有することが可能です（提出方法については報告者に別途連絡します）。
 - ・ （司会者の方々へ）部会開始 5 分前に集合ください。報告 12 分で 1 鈴，15 分 2 鈴，25 分 3 鈴を鳴らします。
- 6 萌芽的セッション報告者へのお願い（萌芽的セッション報告）
- ・ ポスター等の報告資料を，学会大会の概ね一週間前に提出してもらい，大会期間中会員のみで大会用 Google Drive にて公開します。報告資料は最大 A0 判のポスターに準じた情報量を目安とします。
 - ・ 報告資料と併せて質問・コメントを受け付けるメールアドレスを大会期間中会員のみに提示します。
 - ・ 報告資料とメールアドレス両方の掲出をもって報告成立とします。
 - ・ 希望される場合は，学会参加者が参加可能なディスカッションのプラットフォーム（Zoom セッションを推奨）を報告者自身で設定し，その情報を提示することができます。
 - ・ 報告資料の提出方法ならびに追加のディスカッション・プラットフォームに関する情報については報告者に別途連絡します。
- 7 問い合わせ先

研究事務局 〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155
関西学院大学社会学部 石田 淳
E-mail: jams.research[at]gmail.com

9月20日(日)

13:00~15:00 編集委員会 Zoom
13:00~15:00 研究活動委員会 Zoom
15:00~17:00 ワンステップアップ・セミナー Zoom
17:00~19:00 理事会 Zoom

9月21日(月)

09:00 開場 Zoom

09:25 開会挨拶 研究理事 石田淳 Zoom

09:30~10:45 自由報告 I

【第1部会】 計量研究の諸展開 1 Zoom

司会 竹ノ下弘久(慶應義塾大学)

1	超高齢社会の経済格差 ——富の不平等に着目して——	白波瀬佐和子(東京大学)
2	政治的エリートの平等観と政策選好 ——1980年と2018年の比較分析——	山本英弘(筑波大学)
3	フレーミング理論にもとづく家事分担の平等化遅滞メカニズムの 分析——カップルデータを用いた経験的検証——	尾藤央延(大阪大学)

****休憩(15分)****

11:00~12:15 自由報告 II

【第2部会】 数理研究の諸展開 Zoom

司会 金澤悠介(立命館大学)

1	何故ブルターニュ半島の出生力低下が遅れたのか ——反応拡散説のみがそれを説明する——	池周一郎(帝京大学)
2	行動変容の微分方程式モデル ——ベイズ統計による都道府県別自粛率の分析——	浜田宏(東北大学)
3	その裏切りには理由があるはずだ ——私的観察系間接互惠性の進化ゲームによる網羅的分析——	岡田勇(創価大学)

****昼食休憩(75分)****

12:30～13:15 30周年出版企画編集会議

Zoom

13:30～14:45 自由報告 III

【第3部会】 数理・計量研究の諸展開

Zoom

司会 内藤準（成蹊大学）

1	バランス理論における感情安定性の考察 ——企業買収による戦略の合意形成——	今野和彦（東京工業大学）
2	ルール・マナー・道徳の語られ方 ——新聞記事出現率の推移に基づく分析——	深尾友理恵（滋賀大学）
3	Naturalization Aspirations among Foreign Citizens in Japan	Tate Kihara (Brown University)

****休憩（15分）****

15:00～16:00 学会賞受賞講演

Zoom

****休憩（15分）****

16:15～17:15 総会

Zoom

17:15～18:00 懇親会

Zoom

9月22日(火)

09:00 開場

Zoom

09:30~10:45 自由報告 IV

【第4部会】 計量研究の諸展開2

Zoom

司会 高松里江(立命館大学)

1	反差別規範の普及に関するリスト実験	五十嵐彰(立教大学) ○永吉希久子(東京大学)
2	母親の職業的地位が子どもの教育達成に及ぼす影響とその趨勢	木村裕貴(東京大学)
3	制度上の「障害者」ではないグレーゾーンにおける労働市場からの排除	百瀬由璃絵(東京大学)

****休憩(15分)****

11:00~11:50 自由報告 V

【第5部会】 計量研究の諸展開3

Zoom

司会 大久保将貴(東京大学)

1	現代若者「生きにくさ」に対する、セロトニントランスポーター遺伝子多型 5-HTTLPR の効果	○桜井芳生(鹿児島大学) 西谷篤(鹿児島大学) 尾上正人(奈良大学)
2	ハンサム, 美人はモテるのか——美容資本の理論と実証——	小林盾(成蹊大学)

****昼食休憩(70分)****

13:00~15:00 萌芽的セッション

Google Drive

1	情報収集コストを伴う判断の集計	関口卓也(理化学研究所)
2	被爆地における平和意識の変容 ——広島・長崎平和宣言の計量テキスト分析——	渡壁晃(関西学院大学)
3	RDS データに対応するロジスティクス回帰モデルの推定について	○前田豊(信州大学) 朝岡誠(国立情報学研究所)
4	自由主義の縮小が排外意識に与える影響の検証	下窪拓也(東北大学)
5	公共財的側面を持つサービスの維持に関する分析	○大平哲史(青山学院大学) 稲葉美里(近畿大学) 大林真也(青山学院大学) 清成透子(青山学院大学)

6	国際法の下での国家の行動 ——WTOの紛争解決手続きにおける履行状況の計量分析——	千葉(岡部) 悠瑛(東京工業大学)
7	誰が地域を移動するのか? ——東大社研パネル調査を用いた地域移動の分析——	○石田浩(東京大学) 大久保将貴(東京大学) 米倉佑貴(聖路加国際大学)
8	オンライン上の公共財への資源供出行動の分析	○稲葉美里(近畿大学) 大林真也(青山学院大学) 大平哲史(青山学院大学) 清成透子(青山学院大学)
9	圏論によるメディア社会論のために ——「技術的複製可能性の時代の芸術作品[第三稿]」から——	大山智徳(無所属)
10	職域分離とスキルからみる労働市場のジェンダー格差 ——日本版O-NET・国勢調査マッチングデータから得られる示唆——	打越文弥(プリンストン大学) ○麦山亮太(一橋大学) 小松恭子(労働政策研究・研修機構)
11	Mineo フリータックにおける協力行動の実証分析	○大林真也(青山学院大学) 稲葉美里(近畿大学) 大平哲史(青山学院大学) 清成透子(青山学院大学)
12	現代日本企業の役員兼任に対する社会ネットワーク分析	○藤山英樹(獨協大学) 平井岳哉(獨協大学)
13	「女性は男性よりも生まれつき数学の能力が低い」と思われているのか?	○大久保将貴(東京大学) 藤原翔(東京大学)
14	複合二項分布を利用したゲッシングによる正答分布の社会調査への示唆	○前田忠彦(統計数理研究所) 横山詔一(国立国語研究所)
15	女性の就労に関する男女の意識変化と地域差:「日本人の意識」調査データを用いて	○中西泰子(相模女子大学) 鈴木富美子(東京大学) 施利平(明治大学)
16	教育選択における二次効果発生メカニズムの数理モデルによる説明——合理的選択理論の立場から——	北村友宏(慶應義塾大学)
17	地域環境が階層意識に与える影響	平松誠(大阪大学)
18	職業威信に対する多様なジェンダー要因の影響	脇田彩(お茶の水女子大学)
19	規定要因の分析にもとづく陰謀論的思考の探索的類型化:「社会と科学技術にかんする意識調査」より	山本耕平(元京都大学)
20	高齢期における就業継続要因の検討	渡邊大輔(成蹊大学)

(備考)

1. ○印は登壇者を示します。[E] は英語による報告です。The [E] symbol stands for English presentations.
2. Zoom ミーティング招待情報, 萌芽的セッション実施一覧表, Google Drive へのアクセス情報は, 大会直前に登録メールアドレスならびに会員メーリングリストにて告知します.
3. ワンステップアップ・セミナー参加(無料)には申し込みが必要です. 詳細はセミナー案内をご覧ください.

(変更履歴)

2020年8月7日 暫定版プログラム

2020年9月1日 大会前確定版プログラム